

## ボトムアップの春。

立憲民主党は、1年半前に誕生したばかりの、小さな野党第一党です。この間、各地を飛び回って感じたのは、地方が抱える危機感の大きさであり、「新しい政治」を期待するこれまでにない「うねり」でした。

改元は時代の区切りですが、今の日本の状況は簡単には好転しません。それでも全国のあちこちで、様々な地域が第一歩を踏み出す、そんな「ボトムアップの春」にしたいと考えています。ぜひ、立憲民主党の候補者に、皆さまの一票を投じてください。



## 地域のストーリーにこそ、日本の未来はある。

今の「とにかく効率性をあげてお金を稼ぎなさい」というだけの薄っぺらな競争ではなく、地域の方々が、その土地の潜在的な価値を再発見し、その地域ならではの可能性を模索するプロセスをともに作りあげたいと考えています。

地域固有のストーリーには、一極集中的な価値観からは生まれない、多様な可能性が秘められています。それこそが、次の時代の日本を引っ張っていきます。

鍵は、地域における公共サービスの拡充にあります。

介護や保育、学校、それに児童相談所など、公共サービスが充実することで、暮らしの安心につながります。

しかしながら、その分野で働く人たちの賃金が低すぎます。まずは教育や保育、介護に携わる人たちの労働環境を改善することが地域の好循環に向けた第一歩となります。

私たちは、「社会」や「地域」に投資することで、日本全体が好循環へと向かうボトムアップ型のビジョンを掲げます。

# 立憲民主党候補者に あなたの一票を



多様性を誇りに  
分かち合うことを力に  
支えあうことを安心に。

## 立憲民主党 ボトムアップ デモクラシー 宣言

われわれ立憲民主党自治体議員はここに宣言します。

ひとつ。フェアで活力ある雇用や福祉を作り出すことで、格差の拡大や少子高齢化の課題に、地域から挑戦します。

ひとつ。女性や若者、子供たち、非正規労働者、障がい者、セクシュアル・マイノリティ。多様な当事者の声を、ダイレクトに政治に反映します。

ひとつ。地域の特性を踏まえた地産地消のエネルギーを推進し、持続可能な地域の未来づくりを目指します。

ひとつ。情報公開と議会改革を進め、オープンで活力ある住民自治を創り出します。

日本全国のまちには、それぞれの課題と魅力、そしてストーリーがある。わたしたちにも、あなたにも、果たすべき役割がある。いま日本に必要なのは、ボトムアップのダイナミズムです。

多様性を誇りに。分かち合いを力に。支え合いを安心に。

新しい日本の第一歩は、あなたのまちから始まります。

### 立憲ボトムアップ政策

## 多様性を誇りに。分かち合うことを力に。支えあうことを安心に。

- 地域から一日も早く原発ゼロ社会の実現をめざします。再稼動を認めず、原発立地周辺自治体では、地域でのエネルギー自給を進めることで地域経済を活性化させます。
- 選挙での男女同数に向けて、各地域で女性議員を増やし、政策決定の場への女性参画を進めます。
- 福祉は地域に欠かせない産業です。介護職の雇用条件の改善や専門職の活用により、福祉、医療の質向上をめざします。
- 保育士・幼稚園教諭・放課後児童支援員・教職員等の雇用環境を改善します。
- 地域経済の基盤である中小企業、小規模事業者、農林水産業や建設業など地域インフラを担う地場産業を育成し雇用を創出します。
- 地域資源を生かした観光需要を掘り起こすなど、地域内で循環する経済・社会システムの構築、イノベーションの推進による地域経済の活性化も進めます。
- パートナーシップ証明発行を進めるなど LGBT 当事者を含むすべての人が差別されることのない社会をつくります。
- マイノリティ、特別な配慮を要する子ども、障がいのある子ども、その子らしい成長のために、子どもの権利条約を活かし切れ目のない支援を拡充し、子どもの貧困をなくします。
- 保育園待機児ゼロと同時に幼児教育、保育の質を向上します。
- 高齢者、障がい者支援や大災害時への対応ができる地域の助け合い・見守りネットワークの創設をめざします。
- 多様な個性や価値観が認められ、すべての人が平等に機会を与えられる「共に生きる社会」、「ジェンダー平等社会」を実現します。
- どんな災害があっても命が守られるように支えあえる社会をつくります。
- 第1次産業を支え、食と地域の安心を守り、食育を進めます。
- 生涯を通じた学びの機会を保障します。
- 障がい者差別解消法の条例化に取り組みます。

